

「国内外環境の流動化と言語問題」

日時 2011年12月3日(土)～12月4日(日)

会場 京都光華女子大学 (京都市)

参加費 会員：500円 非会員一般：3000円 非会員学生：1500円 (予稿集を含みます)

12月3日(土) 12:00～ 受付開始

1号館特2教室

- 13:00 会場校挨拶：一郷正道 (京都光華女子大学学長)
会長 挨拶：田中慎也 (日本言語政策学会会長)
- 13:15～13:45 基調講演：田中慎也 (日本言語政策学会会長)
「グローバル化の進展と日本の緊急言語政策課題」
- 14:00～17:00 パネルディスカッション：
「日本社会における情報弱者とは何か—東日本大震災からの示唆」
- 14:00～14:45 講演1：梶茂樹
(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科)
- 14:45～15:30 講演2：石田英敬 (東京大学大学院情報学環)
- 15:30～15:45 休憩
- 15:45～17:00 パネルディスカッション
ディスカッサント：梶茂樹、石田英敬、田中慎也
司会：木村哲也 (帝京大学大学院)
- 17:30 懇親会 (京都光華女子大学学内食堂、会費 4000円)

12月4日(日) 9:00～ 受付開始

9:30～11:30 一般発表

- 間光館 252 教室** 司会：本田弘之 (杏林大学)
松岡洋子 (岩手大学)
「移住者に対する第二言語教育と教師養成—ドイツ調査から見たこと—」
嶋内佐絵 (早稲田大学大学院生)
「北東アジアにおける高等教育の国際化・地域化と言語」
許之威 (京都大学大学院生)
「台湾におけるニューカマー対象の言語教育制度」
佐々木倫子、鈴木理子 (桜美林大学)
「iPod touch の手話アプリに見られるろう者軽視の方向性」
- 間光館 253 教室** 司会：細谷美代子 (筑波技術大学)
山川和彦 (麗澤大学)
「北海道倶知安町の言語景観について」
上村圭介 (国際大学)
「ソフトウェアのローカライゼーションに関する
社会経済的分析と言語政策的意味の考察」
五十川敬子 (帝塚山大学)
「小学校国語教科書で学ぶ『思考力』は世界に通用するか」
- 間光館 254 教室** 司会：仲矢信介 (東京国際大学)
平畑奈美 (滋賀大学)
「『クール・ジャパン』政策と日本語普及政策」
山本冨里 (早稲田大学大学院生)
「自国語の国外普及をうべなう論理—国際交流基金と国家漢办」
杉野俊子 (工学院大学)
「言語・教育政策研究者の研究姿勢と社会的役割についての再考察」
- 徳風館 6 階小講堂**
13:00～13:15 総会
13:15～14:15 講演：ミッシェル・カンドリエ (フランス・メヌ大学)
「欧州評議会から外国語の教室へ：
言語・文化の多元的アプローチの長い歩み」
(通訳：西山教行 [京都大学])
- 14:30～17:00 シンポジウム
「移民コミュニティの移民言語教育—オールドカマーを中心に」
パネラー：李洙任 (龍谷大学)
柳美佐 (京都大学大学院)
陳於華 (中京学院大学)
コメンテーター：庄司博史 (国立民族学博物館)
司会：オストハイダ・テーヤ (関西学院大学)